

信濃川改修工事山間部地之概況

本年三月六日午後十一時頃信濃川改修大河津新水路開鑿山間部中央右岸渡部村地内ニ於テ俄然一大地之ヲ生セリ蓋近來稀ナル現象ニシテ工事ノ計畫若クハ施工上參照トス可キ點少カラサルヲ以テ左ニ當局者ニ就キ聞キタル概要ヲ掲ク

信濃川改修中大河津新水路開鑿ハ同處以下寺泊ノ北方海ニ至ルニ里二十町間ニシテ内山間部ノ延長凡ソ千間此部ノ開鑿斷面ハ敷幅百五十間兩岸法平均一割ニシテ高キハ三百尺ニ及フ地之當時ハ工事ノ出來高凡ソ其半ニ達シ山間部一體海拔三十尺線ニ於テ幅凡五十間以上ノ開鑿ヲ了セリ而シテ地之個所ハ切取直高凡ソ二百五十尺ニシテ海拔百五十尺以上ハ略ホ工事ヲ了シ海拔三十尺線ニ於テ前記ノ如ク開鑿五十間ニ達シ居レリ土質ハ概ネ硬質粘土盤ニシテ往々堅キ岩層其間ニ介在シ其掘鑿ニ當リテハ總テ火藥若クハだいなまいとヲ使用セリ

地之ハ右岸切取面ヲ距ル凡ソ二百五十間ノ山頂海拔四百尺ノ箇所ヨリ起リシ長二百五十間幅平均百五十間ノ山地一帶川敷線ニ凡ソ七十度ノ角度ヲ成シテ斜ニ下流ニ向ヒ六十間餘ノ移動ヲ生シタリ而モ地之面ハ餘程下部ニアリト見エ竣功セル切取法面ハ稍龜裂箇所ヲ生シタレトモ只スリ出シタル迄ニシテ略其原形ヲ存シ樹木ノ如キモ別ニ異狀ヲ呈セス而シテ掘鑿區域内ニ於ケル地盤ハ著シク隆起シ海拔平均高百二十尺幅百五十間ノ小丘左右兩岸ノ間ニ突起セリ爲ニ海拔三

1112

十尺七十尺百十尺ニ設置セル各掘鑿機ハ地盤ト共ニ押シ上ケラレ就中三十尺線ニ於ケルソレノ如キハ海拔百三十尺ノ高所ニ之レヲ見而カモ何等損所ヲ生セス稍斜傾シタルニ過キサルナリ地ニ跡ニハ幅六十間乃至三十間ノ裂ケ目ヲ生シ所々明ニ地ニ面ヲ露出セリ該地層ハ堅キ粘土盤ニシテ恰モ石盤石ノ如ク極メテ滑ナルノミナラス表面ニ軟弱ナル粘土厚約一寸ヲ包被セルヲ認メタリ而シテ其走向及ヒ傾斜ヲ見ルニ傾斜ハ十六度乃至十九度ニシテ方向ハ川敷中心線ト斜ニ下流ニ向ヒ三十三度乃至十六度ノ角度ヲ有スルモノ、如シ(完)

大正三年發電水力地點要覽

今回遞信省電氣局ニ於テ編纂セラレタル發電水力地點要覽大正四年三月刊行ノ内我邦既設及未設(既認可)發電水力地點ノ内約千きろわ。と以上ノ容量アル分ヲ抄録スレハ左ノ如シ

* 未設又ハ未開業

府縣國名	事業者	河川	取入口	放水口	水量 區	落差 尺	理論馬力數	發電容量 キロワット	認可容量 キロワット	水路延長 哩	目的
島	函館水電	折戸川	軍川	小川	200	220	4846	2000	2000	2660	燈力
鹿	別子製紙	別子川	小比羅	小比羅	135	72	1093	1200	900	780	力
鹿	尾別子製紙	尾別子川	比羅	比羅	400	125	5620*	1700	未	4000	力
鹿	川製紙	川	比羅	比羅	500	423	28604	15000	18072	2869	製紙、燈力
鹿	旭川電氣	旭川	東大	東大	400	150	6744*	3200	未	3600	燈
鹿	川電氣	川	東大	東大	150	140	2369	1000	920	2450	燈
鹿	市電氣	市	東大	東大	150	170	2866*	未	未	1837	燈力
鹿	石宮	石宮	東大	東大	150	170	2866	750	750	—	力
鹿	狩城	狩城	東大	東大	200	88	1978	1300	1000	1182	力